

犬を飼う前の注意点

1. 動物を飼う前に

動物はぬいぐるみとは違います。

ご飯やお水や運動を毎日必要とします。毎日排便・排尿します。

自分の意志があります。人の意に反する行動をとることもあります。

たまに具合が悪くなることがあります。

次第に年を取っていきます。年を取るとより人の手を必要とします。

十年から十数年生きます。

あなたは十数年間自分の時間・労力・金銭の一部を分け与える覚悟がありますか？

2. 犬を飼う前の注意点

あなたの犬を飼う理由は何ですか？

あなたが犬を飼いたい理由がもし以下に挙げる様なものの場合には要注意です。

時間を置いて冷静になってからもう一度考えてみてください。

●ペットショップで一目惚れ

ペットショップで遊んでいる子犬や子猫はかわいいものです。母性本能をくすぐられると言うか、保護したい・飼いたいと思わせる魅力があります。

しかし、一歩引いて考えてください。子犬はどんどん成長していきます。子犬子犬しているのは家に来てからせいぜい3~4ヶ月です。成犬になった姿が想像できていますか？その姿にちゃんと愛情を注げますか？



オーストリアの動物行動学者コンラート・ローレンツが提唱した考え方に「ベビースキーマ (baby schema)」と言うものがあります。これによると大きな頭・広めの額・中央よりやや下に位置する大きな眼・短くて太い四肢・丸みのある体型等の特徴を持ったものに対して人は「かわいい」「保護したい」と感じるものなのです。

●あの有名人が飼っているから

尊敬する人・憧れている人が飼っているから…

これは心理学で言うところの同一化現象と考えられます。自分が尊敬していたり憧れている人物と同じ要素を備えることで、その人物と同格になったような感覚に浸ることです。もしこういった動機で犬を飼おうと考えている場合には、まず服装・髪型・アクセサリ等をまねて、そして考えてみてください。3年後にも同じ憧れを持ち続けられるでしょうか？ 服やアクセサリは取り替えることができます。しかしそれが犬だった場合には？

●何となく流行っているから

流行の犬というのがいつの時代にもあります。流行に乗って買ってしまったは良いが、その犬種の特徴が現在の生活スタイルと合致せず散々苦労した挙句、最悪捨てられてしまう場合があります。小さい子供がいる家庭、お年寄りだけの家庭、一人暮らしの家庭、など様々ありますが、環境によってはお勧め出来ない犬種も出てきます。

初めて犬を飼う時は、自分が犬に何を求めているのかを考えてみてください。そしてその求めているものに対して自分はどの程度の支出を許容できるのかを、ご自分の尺度でもう一度よく考えてみて下さい。

●子供にせがまれて

「おしっこやうんちは決められた場所以外に決してしないお利口さん。頭が良くて言い分けは必ず守る。無駄吠えなどなくいつも飼い主に愛嬌を振りまいて楽しませてくれる。人を噛むなどとてもない」

こんな子犬は存在しません。当然売っているところありません。

こういった理想の犬に導いていくことが飼い主の仕事です。犬についてきちんと勉強し、自分の時間・労力を使い教えていかなければなりません。教えなければ分からない。これは子犬でも人の子供でも同じです。そして自分で犬に教えつつ、子供に犬を教えさせなければなりません。これはかなり大変で根気のいる作業になります。

さらに、よく見かける事例が、子供にせがまれて飼ったが、当の子供は成長して家を出て、年配の親が残った老犬の面倒を見るパターンです。そこまでの覚悟が来ていますか？

3. 犬にかかる費用

毎年発生する費用

生活費(フード・おやつ代、リードや首輪、ペットシーツ等消耗品、トリミング等)・予防医療費(狂犬病予防接種、混合ワクチン接種、フィラリア予防、ノミダニ予防等)
合わせて年間に小型犬で 10 万～、大型犬になると 20 万～は掛かってきます。



その他

その他臨時に発生する費用として

病気や怪我の治療費・避妊手術や去勢手術・家財道具の修繕費用等があります。

4. 犬の入手方法

動物愛護団体から譲り受ける

成犬が多くなります。良い子が多いですが、問題があつて捨てられた場合もありますので注意が必要です。

ペットショップで購入する

ブリーダーから購入する

通信販売で購入する

商売として扱っている以上、一定の水準の純粋種を入手可能ですが、費用が一番掛かります。まれに金儲けに走ったり、知識不足だったりで酷い子を売る所もありますのできちんとチェックが必要です。

知人から譲り受ける

親の姿が分かるので安心感があるかもしれません。人にも慣れているので人懐っこい子が多いです。

5. 犬選びの注意点

オス犬かメス犬か

オスは明確な発情の問題などはありませんが、活発で時に攻撃的な子があります。メスはオスと比べるとおっとりした子が多いですが周期的な発情出血などに少々手が掛かります。

長毛か短毛か

長毛種は毛の手入れをマメにしないと大変なことになりますが、比較のおっとりした性格の子が多いです。短毛種は毛の手入れはそれ程必要ではありませんが、元気で活発な子が多いです。

室内飼いか外飼いか

室内飼いであれば室内に落ちる毛の処理・散歩後の手入れ等が必要です。

外飼いであればそれなりの庭とハウス・無駄吠えしないしつけが必要になります。

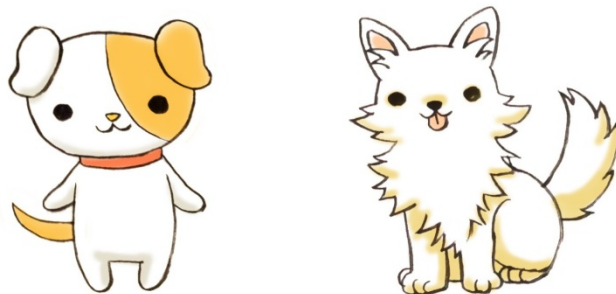
純血種か雑種か

純血種はブリーダーやショップで入手可能で、大きさ・性格等の大まかな把握が出来ます。

入手にそれなりの費用が掛かります。雑種は近年入手が意外に難しくなっています。問題は子犬の場合どんな子になるか、どのくらいの大きさになるかすら分からない場合が多いことです。純粋種と比較すると雑種は平均寿命が長めです。

大型犬か小型犬か

小型犬は犬の飼える環境であればたいはいは大丈夫ですが、大型犬を飼うにはそれなりの広さ・体力・財力を必要とします。性格的には大型犬は許容範囲が広く、比較的しつけやすいですが、小型犬はしつけが若干難しくグレやすいです。



犬の十戒

1. 私の一生はだいたい10年から15年。あなたと離れるのが一番つらいことです。どうか、私と暮らす前にそのことを覚えておいて欲しい。
2. あなたが私に何を求めているのか、私がそれを理解するまで待つて欲しい。
3. 私を信頼して欲しい、それが私の幸せなのだから。
4. 私を長い間叱ったり、罰として閉じ込めたりしないで欲しい。あなたには他にやる事があって、楽しみがあって、友達もいるかもしれない。でも、私にはあなたしかいないから。
5. 話しかけて欲しい。言葉は分からなくても、あなたの声は届いているから。
6. あなたがどんな風に私に接したか、私はそれを全て覚えていることを知って欲しい。
7. 私を殴ったり、いじめたりする前に覚えておいて欲しい。私は鋭い歯であなたを傷つけることができるにもかかわらず、あなたを傷つけないと決めていることを。
8. 私が言うことを聞かないだとか、頑固だとか、怠けているからといって叱る前に、私が何かで苦しんでいないか考えて欲しい。もしかしたら、食事に問題があるかもしれないし、長い間日に照らされているかもしれない。それか、もう体が老いて、弱ってきているのかもしれないと。
9. 私が年を取っても、私の世話をして欲しい。あなたもまた同じように年を取るのだから。
10. 最後のその時まで一緒にいて欲しい。「もう見てはいられない。」、「居た堪れない。」などと言わないで欲しい。あなたが隣にいてくれることが私を幸せにするのだから。忘れないで下さい、私はあなたを愛しています。

